

第1回 円山川流域懇談会 議事録（概要版） 会議の概要

日 時： 平成26年3月29日(土)14時00分から16時00分
場 所： 但馬地域地場産業振興センター 多目的ホール（じばさん TAJIMA 2F）

■議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 円山川流域懇談会の設立について
 - 1) 円山川流域懇談会について（設立趣旨） [資料-1]
 - 2) 委員紹介 [資料-2]
 - 3) 円山川流域懇談会規約（案）について [資料-3]
 - 4) 円山川流域懇談会公開方針（案）について [資料-4]
 - 5) 座長選出
 - 6) 座長挨拶
 - 7) 座長代理の指名
4. 円山川流域懇談会の運営について [資料-5]
5. 円山川水系河川整備計画の事業実施について（報告） [資料-6]
6. その他
7. 閉会

■審議内容

1. 円山川流域懇談会について（資料-1）

資料-1に基いて、「円山川流域懇談会」の設立趣旨について事務局から説明がなされ、確認されました。
2. 委員紹介（資料-2）

資料-2に基いて、事務局より委員の紹介がなされました。
3. 円山川流域懇談会規約（案）について（資料-3）

「円山川流域懇談会規約（案）」について事務局から説明が行われ、同規約（案）は委員により了承されました。
4. 円山川流域懇談会公開方針（案）について（資料-4）

円山川流域懇談会公開方針（案）について、事務局から説明が行われ、同公開方針（案）は委員により了承されました。
5. 座長選出
規約第4条に基き委員の互選により、藤田裕一郎委員（岐阜大学フェロー、岐阜大学名誉教授）が座長に選出されました。
6. 座長代理の指名
規約第4条3号に基き、座長代理として川合茂委員（舞鶴工業高等専門学校名誉教授）が座長により指名されました。
7. 円山川流域懇談会の運営について（資料-5）

円山川流域懇談会の運営について事務局から説明が行われ、委員により概ね了承されるとともに、下記のような意見が出されました。

【意見】進捗点検を実施するに当たっては、達成度を数値評価することが望ましいので、現在B区分になっているものも、できるだけ具体的な目標を立ててA区分とすべき。

【回答】今後、その方向で検討していきます。

【意見】治水、利水、環境などの分野での個別項目のチェックだけでなく、それぞれの分野の総合的なチェックも必要ではないか。

【回答】意見の通りと考えられますので、今後、その方法等について検討していきます。

【質問】環境の分野に関しては、資料にも円山川水系自然再生推進委員会が中心となって協議されていると示されているが、当懇談会との兼ね合い・役割分担はどうなるのか。

【回答】個別事業のPDCAに関しては、河川管理者は自然再生推進委員会で意見を頂いているので、その場で河川管理者からこの懇談会で出された意見を紹介し、検討して頂きます。

8. 円山川水系河川整備計画の事業実施について（資料-6）

河川管理者から、円山川水系河川整備計画の事業実施について報告が行われた。それを受けて、委員から下記のような意見が出されました。

【意見】湿地再生に関して、外来種対策についても考えて欲しい。

【質問】中郷遊水地に関して、具体的な利用方法について考えを教えてください。

【回答】平水位ぐらいまで掘り下げ、たくさんの生き物が生息、生育する場所にしたいと考えています。

【意見】湿地が単なる採餌場にならないような工夫をして欲しい。

【回答】有識者の皆さんの意見を聞きながら詰めていきたいと考えています。

【意見】遊水地にするのであれば、本来河川外につくるべきでないか。

【意見】植生については、目標を早期に定める必要がある。

【意見】整備途上での大出水に対して、対応を考えておく必要がある。ソフト対策として、雨量情報の自治体への適切な提供等についても、対応していただきたい。

【意見】維持管理における長寿命化計画に関しては、個別施設のみでなく全施設の平準化を考慮して計画すべきである。

9. その他

【質問】流域懇談会設立趣旨にある整備計画の変更は、進捗点検結果に基づいてのことなのか。また、自然再生推進委員会の方で整備計画の変更について、意見を言ってもいいのか。

【回答】単に進捗点検結果に基づくのではなく、社会情勢の変化や大規模な災害等で現在の目標を変える必要が出てきた場合に、整備計画の変更の議論になる。また、整備計画の変更に当たっては、再び流域委員会を立ち上げていくなど、いろいろ意見をいただくこととなります。

以上